

令和2年度事業報告

(総括)

今年度は4月当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各部会とも大変な一年となりました。

年度当初の総会や常任評議委員会、各部会で実施すべく計画立てした事業も、ほぼ全般に渡り中止や出席人員を制限して開催する等、困難を極めた年でありました。

さて、今年度の重点項目としてとり上げた、3つの項目については以下の対応となりました。

- 1 地区活動拠点の整備につきましては、建設整備促進対策委員会と連携し、11月に開催された「未来トーク」の中で市に強く要望をし、更なる前進を目指し引き続き、活動してまいります。
- 2 ささえ合いマップづくりの推進については、各区において地図が作成でき、その活用方法についての講演を予定していたが、新型コロナの影響を受け中止となりました。基本は確定しているので今後も継続により具体化を図ります。
- 3 緊急時に対応できる組織の構築については総務部会、安全・防災部会が中心となり検討を重ねてまいりました。総務部会の事業報告の中でもある通り、自主防災会連絡協議会に「災害時情報連絡室」を設置する方向で進めていく予定です。

〈総務部会〉

住民自治協議会組織活動の活性化と地域づくりの推進を図るため、活動を進めてまいりましたが、当初予定した事業は新型コロナウイルスの影響で規模縮小または中止をせざるを得ませんでした。以下事業ごとに報告をします。

1 まちづくり計画関連事項の推進

(1) 都市計画道路等朝陽地区関係事業の推進

東外環状線建設対策委員会・合同委員会の開催、地区内の道路網整備の推進（東北地区道路問題懇話会等で要望提出）

(2) 公共施設の充実に向けた活動

総合施設建設に向け建設整備促進対策委員会と共に、11月に開催された「朝陽地区ながの未来トーク」の主要議題として早期建設を要望した。

2 あさひ かがやき事業活動

実行委員会中心に活動。

一昨年10月の水害被害のため今年度は事業を縮小せざるを得ませんでした。

北堀区で開催の「あさひ・ふるさと夏祭り」は中止。

11月14日（土）朝陽市場「軽トラ市」はリバーフロントにて実施。

2月27日（土）菊芋収穫祭は菊芋畑にて実施。

3 「朝陽地区ながの未来トーク」の開催

11月7日（土）開催、参加人数等規模縮小、懇親会は中止、参加者45名。

議題は以下の3点を要望しました。

①朝陽総合施設の早期建設要望

②水害対策について

③太陽光発電施設設置に関するガイドラインの規制強化

4 朝陽地区戦没者等追悼式の開催 9月22日（火）41名出席

戦没者等の皆様に不戦を誓い、追悼式が厳粛のうちに執り行われました。懇親会は中止。

5 地域における男女共同参画の推進

男女共同参画セミナーの実施 12月9日（水）

講師：長野市人権・男女共同画課

女性リーダー養成講座には、安全防災上松部会長が参加した。

6 朝陽地区災害対策本部の検討

朝陽地区 自主防災会連絡協議会に「災害時情報連絡室」を設置する方向で最終方針とした。

7 その他 継続案件

東部5地区（古里、長沼、柳原、朝陽、大豆島）の努力によって建てられた東部文化ホールは2020年に10周年を迎えることから、5地区の代表が集まりプレコンサートを2019年12月1日予定で準備してきましたが、災害発生のため未定、延期となりました。5地区の相互交流となるこの取り組みを大事にしていけます。

8 住自協「組織等検討委員会」の答申

令和元年度組織検討委員会答申は「住民自治協議会会長と区長会長の分離」について、「住自協会長と区長会長が兼務する、現行方式が適当と考えます」でした。またここに至る検証の結果と提案が付されています。その主なものは①住自協会長・区長会長の負担軽減策の検討、②朝陽地区としての災害発生に対する組織を準備、③住自協の中長期にわたる視点での事業計画策定と、検証の必要、④区長会と総務部会の位置づけも含め、現状に即した無駄のない住自協の組織の在り方を検討する、等です。

この答申に基づき、住自協各部行事の挨拶の見直し、会長職としての各団体長等の兼務の解消に向けては引き続き検討課題となります。

また災害発生に対する組織の検討を行ってきましたが、災害対策本部・災害時の情報交換等、安全防災部会との連携も含め、引き続き重要なテーマになります。

〈安全・防災部会〉

安全・安心なまちづくりを進めるとともに、地域で見守り・支え合える仕組みづくりを目指し、年7回の部会を開催し、自主防災、防犯活動、交通安全などに係る事業を実施しました。

1 防災対策事業の推進

(1) 水害防止用土のう点検整備及び水防訓練の実施（6月7日（日））

長野市消防団朝陽分団のご指導・ご協力のもと、土のう点検整備及び水防訓練を実施しました。（参加者 65名）

(2) 防災携帯無線機による通信訓練（災害想定）の実施

原則として、毎月10日午前9時から実施しました。10日が土・日の場合は直後の平日に行いました。

- (3) 防災携帯無線機について（令和3年2月1日（月））
新たに防災携帯無線機1台を購入し、北堀区に貸与致しました。
- (4) 防災研修会の開催
防災研修会（水害防止対策研修会）の開催（6月30日（火））
水害防止対策委員会・千曲川左岸堤防改修対策委員会と共催で、信州大学工学部水環境土木工学科教授 吉谷純一氏に「命と財産を守る多種多様な水害対策」の講話をしていただきました。
（会場参加者45名）（WEB会議システム（Zoom）参加者38名）
- (5) 防災講座の開催（9月11日（金））
長野市保健福祉部福祉政策課の松本勇氏に「避難行動要支援者の避難支援」をテーマに「自主防災組織に提供している避難行動要支援者名簿を活用した防災活動」の講話をしていただきました。（参加者32名）
- (6) 防災施設視察研修会
今年度は2回の研修会を行いました。
① 防災行政無線使用方法の研修（8月18日（火））
南屋島公民館において長野市総務部危機管理防災課の池垣康則氏に防災行政無線の個別操作・個別通信の方法を説明していただき、実際の操作研修を行いました。（参加者31名）

② 防災備蓄倉庫の確認（10月13日（火））
朝陽支所の前田大吾氏に説明をしていただき長野運動公園防災備蓄倉庫と、エムウェーブ防災備蓄倉庫の「所在地の確認・開錠の方法・備蓄物品の把握」を行いました。（参加者29名）
- (7) 「災害時情報連絡室」（案）の作成
災害時の組織体系図として「災害時情報連絡室」（案）の作成を行いました。昨年の台風19号災害の教訓を生かして今年度初めて朝陽地区内にある防災行政無線の使用法の研修と防災備蓄倉庫の確認を行いました。また、災害時の朝陽地区内の情報を共有し、災害に遭わなかった地区が被災区を後方支援するための「災害時情報連絡室」（案）の作成を行いました。

2 防犯対策事業の推進

- (1) 防犯研修会の開催
研修会参加対象者が多数であり新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。

(2) 夏季及び年末防犯パトロールの実施

夏季…7月18日(土)～7月31日(金)…137名参加

年末…11月28日(土)～12月11日(金)…134名参加

各地区の役員、防犯指導員、少年育成委員、防犯女性部員等のご協力を得て実施しました。

(3) ポスター・立看板等による啓発活動の実施

長水防犯協会幹旋の「夏の地域安全運動」「全国地域安全運動」「年末特別警戒」「春の地域安全運動」等の看板を各地区、朝陽地区公民館、朝陽支所に配付し、掲出を依頼しました。

3 交通安全対策事業の推進

(1) 交通安全街頭啓発活動の実施(交通安全協会朝陽支部主管)

ア 夏の交通安全やまびこ運動 イ 秋の全国交通安全運動

ウ 年末の交通安全運動 エ 春の交通安全運動

(2) 市道等の白線塗布の実施(交通安全推進委員会主管)

交通安全推進委員会、各地区育成会等が行う白線塗布事業における物品要望調査及び物品調達を実施しました。

〈環境美化部会〉

朝陽地区の生活環境の改善に向けて、住民の意識を高めると共に、住み良い街づくりをめざして、各区の環境美化活動を支援してきました。また、次世代に向けて地球温暖化防止の啓発活動も推進してきました。

今年度は、長野市からの新型コロナウイルス感染拡大防止の対応方針をふまえ事業の中止・変更等をしてまいりました。

1 各地域の清掃活動

(1) 長野市の5月・10月の「ごみゼロ運動」に併せ、

春は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため・・・中止

秋は各地区ごとに大掃除・河川清掃を実施

(2) 各区の需要調査に基づき、清掃用具を配布

2 ごみ収集適正化、環境整備

(1) 市職員によるごみ処理に関する勉強会4月23日(木)・・・中止

(2) ごみ分別ポスターをごみ集積所に掲示

(3) 市のごみカレンダーを各地区に配布

- 3 探鳥会・河川敷清掃
「千曲川河川敷での清掃と探鳥会」6月23日（日）・・中止
- 4 アメシロ・マイマイガ防除
 - (1) 各区の需要調査に基づき防除剤を配布
 - (2) 各区ごとに状況に応じて防除実施
- 5 不法投棄防止事業の実施
各区へ不法投棄防止用等啓発看板（合計12枚 支柱8本）を配布
- 6 ごみ集積所補助事業
各区に「ごみ集積所維持・管理交付金」を交付（合計：203,100円）
- 7 資源回収報償事業
育成会・長寿会他各団体の資源回収への報奨金交付（17団体）
- 8 視察研修
11月12日（木）「ながの環境エネルギーセンター」の視察研修実施
参加者19名 新型コロナの影響で参加者を限定して実施
- 9 地球温暖化防止活動
 - (1) 生ごみ自家処理実践講座の開催 9月26日（土）
（長野市実践講座と共催） 参加者22名
 - (2) 「みんなで考えよう地球温暖化防止」講座 11月28日（土）
参加者26名
講師 2名
長野市地球温暖化防止活動推進センター 堀池政史氏 片井靖夫氏
当初予定していた「地球儀スフィア・エコドライブ」は三密を避けるため講座に変更

〈社会福祉部会〉

「支え合い安心のまちづくり」をテーマとする——朝陽地区第二次地域福祉活動計画（平成29年～令和3年）、4年目となる令和2年度は、その5つの基本目標の実現に向けて、事業の取り組みをしました。
しかし、コロナ禍により事業の実施をその都度検討せざるを得なくなり、県内の状況を見ながら、三密を避け工夫を凝らし事業を取り組みました。

1 支え合いまちづくり

(1) 各区協議体づくりと活動推進

地域包括ケアシステムの構築を目標に、各区ごとの推進体制の構築を目指し、①桜新町（平成29年）②石渡（平成29年）、③北長池（平成30年）、④北屋島（平成30年）、⑤南堀（令和元年）、⑥北尾張部（令和元年）が発足しました。

本年度は、10月に⑦「北堀支え合い委員会」が設立され、それぞれの区に「支え合いまちづくり」に取り組む体制が成立しました。

(2) 支え合いマップづくり事業

前年に続き、市の「地域やる気支援補助事業」の認定を受け、マップづくり委員会が取り組みを検討しましたが、研修会は実施できませんでした。桜新町でも毎年行っていた「支え合いマップ」更新ができませんでした。

(3) “ささえ愛あさひ”の取り組み

協議体“ささえ愛あさひ”は全体研修会が開催できない中、幹事会を毎月第3水曜日に開き、各区協議体間の情報共有を図るほか、各種研修をしています。

コロナ禍の中、リモートによる広域研修も受講しました。

また、広報紙「ささえ愛あさひ通信」を2ヶ月に1度発行（全戸配布）しています。柔らかな紙面を目指して、編集委員会が活動しています。

(4) なんでもポスト設置

「ささえ愛あさひ通信」の読者との交流を目的に、各区公民館に“なんでもポスト”（投書箱）を設置しました。

2 地域福祉

(1) 各区のお茶のみサロンの取り組み

コロナ禍の中、各区において苦慮しているところです。当初は計画の中止が相次ぎましたが、状況に応じて実施しています。

(2) オレンジカフェの取り組み

○「まめカフェ」北尾張部（そいてい） 毎月第1木曜日 中止

○ 介護者の集い（そいてい） 毎月第3木曜日

（包括支援センターと協働し10月から実施）

○ オレンジカフェきたほり（北堀公民館） 毎月第4土曜日

*三密を避け、実施中

○「ハynesあさひ」（ケアハウスあさひ） 毎月第二木曜日 休止中

(3) 介護予防・はつらつ健康体操の取り組み

- 29年度 「朝陽きらきら体操クラブ」、「石渡元気はつらつクラブ」
- 30年度 「北長池わっこの会」、「四ツ屋はつらつクラブ」
「さくら元気クラブ」
- 31年度 「堀南らく楽体操クラブ」、「北尾張部はつらつ体操」

今では、高齢者の介護予防と生き甲斐づくりの場となり、高齢者の最も活発なサロン活動となっている。本年は、コロナ休止期間を挟みながら断続的に実施されている。

また、北堀ではクラブの発足に向けて講師を育成している。

(4) 地区別福祉懇談会

11月、全8区で計画しましたが、コロナがレベル4となり、7区懇談会が中止、北尾張部のみ実施しました。

(5) 買い物お助けマン

平成21年（住自協発足）以来、各区を単位として取り組まれていましたが、買い物の依頼件数が少なく、取り組み体制が弱体化していました。各区の福祉推進支部長を中心に再構築を模索し、12月に「新実施要項」を定め、現在全8区の体制整備に向けて関係団体に働きかけています。

(6) 先進地視察研修

10月6日(火) 須坂市 12名参加

- ①須坂市旭ヶ丘ふれあいプラザ見学、
(須坂市の公民館単位に設置された地区センター)
- ②旭ヶ丘地区地域づくり委員会及び事業のプロジェクトチームと交流
*団地の高齢化に伴う交通・買い物支援の意見交換

3 福祉大会

本年は、19号台風災害を踏まえ、「朝陽地区過去の災害に学ぶ」ため、北屋島の丸山剛先生の講演をしていただく予定でしたが、コロナ禍のなか、中止しました。

なお、昨年度に新設されました「福祉功労者表彰」については、5名の方を選定、3月22日(月)に各戸訪問して表彰を実施しました。

4 児童福祉

(1) 放課後子ども総合プラン運営委員会

児童センター北村館長5月15日に急逝され、7月1日に傳田新館長が就任しました。

- 1) 7月16日 運営委員会、児童センターと子どもプラザの運営を審議。
新型コロナの小学校の休校に伴う対応検討するとともに、小学校体育館改築にともなう新体育館の多目的棟に入る子どもプラザの運営を検討。
- 2) 9月28日 長野市と新子どもプラザの打合せ会
- 3) 10月20日 運営委員会、①新プラザの引っ越しと開館
②来入児童の募集 ③延長保育時間の決定。
- 4) 3月4日 運営委員会会議、①児童センターの閉館、②新子どもプラザへの引っ越し、③新年度子どもプラザ運営体制について審議しました。
なお、3月31日(水)には児童センターの閉館式を行いました。

- (2) あさひ親子ひろば“にこにこ” 朝陽公民館と共催事業
第1、第2、第3水曜日実施
コロナ禍のため7月から再開し、1回につき親子15組に限定し実施。
- (3) 小学校福祉体験教室への協力 12月22日計画 ⇒ 中止
- (4) 子ども食堂
朝陽団地集会所で実施している「まんぷく食堂」への協力。

5 地域たすけあい事業

- (1) 福祉自動車運行事業（特別会計事業）
コロナ禍の中、運転協力員の理解と協力により、4月緊急事態宣言期間を除き、通常運行実施できました。
利用人員 408人 1505件（4月～3月）
（月平均 34人 125件） 運転協力員10人
- (2) 家事援助事業
利用人員 75人 263件（4月～3月）
（月平均 6人 22件） 協力員28人

6 高齢者事業

- (1) 傘寿のお祝い
おしゃれ風呂敷贈呈（80歳） 84人に贈呈しました。
- (2) ふれあいの旅
中止しました。
- (3) 高齢男性のための料理教室
年8回予定（定員16名） 中止しました。

7 調査・啓発事業

- (1) あんしん便利帳
平成27年発行版の見直しをし、令和3年当初発行に向けて編集。
- (2) 「社協だより」を随時発行、回覧。

8 ボランティア事業

- (1) ボランティアセンターの運営
- (2) 活動支援事業
 - ボランティア育成研修 中止
 - ボランティア交流会 中止

9 諸会議

- (1) 社協企画会議
毎月第2と第4火曜日に会議し、事業の企画、運営の諸問題を話し合い、決定しています。
- (2) 社会福祉部会
毎月第3火曜日に会議し、事業の円滑な執行を図るとともに互いの情報交換を行いました。
- (3) 福祉推進員会
 - 4月24日(金)委嘱式(支部長のみ)
 - 7月12日(日)全体研修会を実施しました。
 - 3月3日(水)活動報告(壁新聞づくり)作成作業実施

10 事務局体制

- (1) 生活支援コーディネーター等
 - 8月 小田切地域福祉ワーカーに兼務となる。
 - 9月 河原田地域福祉ワーカー退職
 - 1月から梨本地域福祉ワーカー採用。
- (2) 生活支援自動車
軽自動車をリース、ワーカー・コーディネーターの訪問活動や研修等に、役員研修会出席等に利用しています。

〈健康増進部会〉

当部会の令和2年度活動方針は、前年度事業を継承し、多くの皆様に健康について関心を持っていただけるよう、健康増進に向けた活動を展開していくことでした。主な活動計画は

- 1 生活習慣病の予防、高齢者の健康維持に向けた啓発事業
 - (1) 健康講演会の開催
 - (2) 健康講座の開催
- 2 地域健康推進事業
 - (1) 地区別健康講座の開催
 - (2) 健康推進員研修会の開催

3 健康増進普及活動の活用・普及

- (1) 情報チラシ「健康だより」の発行
- (2) 朝陽手のひら体操

4 その他

- (1) 行政事業への協力参加

5 地区別健康推進体制の向上でしたが、コロナ禍の中、講演会等は中止と致しました。

今年度は上記5. 地区別健康推進体制の向上をはかるべく「各区、各地区での健康増進」をテーマに、地区毎に健康増進に向けて、コンフォートきたながいけと共催で介護予防教室を開催いたしました。

当部会各区支部長は女性が多く、女性目線での健康造りを進めて参りました。今後も当部会がリーダーシップをとって、朝陽地区の健康寿命の増進にむけて取り組んでいきたいと思っております。

〈教育・文化部会〉

青少年の健全な育成、地域文化の発展と伝統の継承、及び地域に生活する人たち、児童、高齢者、障がい者に対する人権の啓発活動等、明るく住みやすい地域社会づくりを目指して、次の事業を行いました。ただし、本年度は所謂新型コロナウイルス禍により、事業の多くが中止となりました。

また、開催された事業でも、参加者の人数規制等感染拡大防止の基での開催となりました。

1 青少年健全育成関連事業

(1) あいさつ運動に実施:

例年あいさつ運動は年間を通して行われています。

特に6月と9月の各1か月間は「強調月間」として位置づけ、地区内主要箇所等に強調月間を示唆する黄色い幟端を掲揚すると共に、地区の役員の皆様に協力していただき、児童の登校時間に沿って街頭に立ち、児童をはじめ、通勤、通学の方への声掛けをする街頭啓発運動を実施しました。

◇啓発運動協力者人数: [6月] 205名 [9月] 205名 計410名

(2) 第42回青少年健全育成推進大会 (10月17日[土] 13:30)

会場: 朝陽支所2階 集会室 [参加者44名] (人数規制)

《講演》 演題:「“笑顔の輪”をつなげる、広げる」

～コロナ禍における学校の取り組み～

講師: 朝陽小学校 校長 小林 正宣 先生

朝陽小学校 教頭 中村 努 先生

- (3) 少年育成委員による街頭巡回指導・環境浄化指導の実施 (7回)
朝陽地区少年育成委員が人の集まりやすい場所 (例えばコンビニ、公園、駅周辺等) をパトロールして状況を把握、また、学校、交番との意見交換を行いました。

2 育成会連絡協議会関連事業

◆今年度第28回朝陽地区綱引き大会は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止としました。

- (1) 朝陽育成会少年野球サンライズ杯野球大会 (7月23日[木]-24日[金])
会場: 犀川河川敷グラウンド

1回戦 朝陽育成会少年野球 7x - 6 真島ファイターズ

2回戦 朝陽育成会少年野球 4 - 15 東条若葉少年野球

決勝戦 東条若葉少年野球 7 - 1 緑ヶ丘少年野球

[優勝] 東条若葉少年野球 [準優勝] 緑ヶ丘少年野球

[第3位] 安茂里松ヶ丘少年野球・若穂少年野球

- (2) 第33回北信越小学生女子ソフトボール選手権大会 (10月10日 [土])
(福井県永平寺町)

朝陽ライズ (長野) 0 - 2 森本アップルベリークラブ (石川)

3 文化・芸術に関する事業

- (1) あさひ大学講座・地域再発見 (10月13日[火])

主催: 朝陽公民館 協力: 住治協 ふるさと朝陽を学ぶ会

探訪地区: 南堀地区→石渡地区 [参加者30数名] (人数規制)

説明者 倉石 高英 氏 (ふるさと朝陽を学ぶ会会長)

今回は、初めに長命寺本堂で長命寺の縁起について西敬寺布教師 木賣 慈教 (きうり じきょう) 氏の講義を受けました。その後、南堀地区から石渡地区にかけて、お寺や神社、史跡を倉石氏の説明を受けながら巡りました。

4 人権協議会事業

- (1) 第28回朝陽地区人権を考える住民集会 (10月31日[土] 14:00)

会場: 朝陽公民館体育館 [参加者40名] (人数規制)

意見発表 (DVD出演) 朝陽小学校 6年生

[児童会長] 大峽 来瞳 さん

[ともだち委員会委員長] 梨本 知足 さん

※朝陽小学校6年生による意見発表は新型コロナウイルス感染対策からDVD出演となりました。

基調講演

演題：「障害のある人が当たり前暮らしのための地域づくり」

講師：社会福祉法人「森と木」総括センター長 岸田 隆 氏

5 長野市主催研修会・情報交換会

(1) 第1回「青少年健全育成情報交換会」(5月9日[土] 13:30)

会場：ふれあい福祉センター5階

([担当] 長野市教育委員会家庭・地域学びの課)

(2) 第2回「青少年健全育成情報交換会」11月28日[土] 13:30 《講演》

演題：「青少年を取り巻く課題“ネット利用の危険性”についての研修」

講師：長野市少年育成センター主任指導主事 西澤 剛 氏

6 中止とした主な事業

(1) 青少年育成地区会議総会 / あいさつ運動実行委員会 (4月24日[金])

(2) 朝陽地区人権協議会総会 (5月16日[土])

(3) 第19回長野市甚句・音頭交流会 [安茂里公民館] (6月21日[日])

(4) 地域と学校との連携懇談会 (7月18日[土])

(5) 【朝陽小学校】PTA 地区総会 (9月)

(6) 第28回朝陽地区綱引大会 (11月3日[火])

※綱引き大会実行委員会も中止(10月2日[金])

(7) 朝陽地区人権協議会構成団体役員研修会 (11月14日[土])

〈公民館部会〉

長野市朝陽地域公民館連絡会は、朝陽地区住民自治協議会の公民館部会として、学習・文化・芸能及びスポーツの活動を通じて地域の発展と地域住民の交流を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的に、長野市立朝陽公民館と共催して次の行事を計画(感染対策を考慮)したが、新型コロナ感染問題が収束方向に至らず、3項学習活動を除き「中止(一部延期)」とした。

1 文化・芸能活動

(1) 第55回史跡めぐり 6月27日(土)

「西福寺・小千谷震災ミュージアムをめぐる旅」⇒ 中止

(2) 朝陽地区敬老会 9月12日(土)(市立朝陽公民館体育館)⇒ 中止

但し米寿以上の希望者124名に祝長寿記念品「名入れ箸和装セット」を贈呈

- (3) 朝陽地区成人式 1月2日(土)「62名の参加申込」(市立朝陽公民館
体育館)⇒ 延期

但し白バラ会寄贈のお祝い記念品を贈呈

延期先の開催は、次のように決定した。

〔 期日：令和3年8月14日(土)
会場：東部文化ホール 〕

2 スポーツ活動

- (1) 第52回朝陽地区親善球技大会 8月25日(日)⇒ 中止
成人野球 成人女子バレーボール グラウンドゴルフ・ペタンク
ゲートボール 高学年ドッジボール 低学年ドッジボール

3 学習活動

- (1) 役員研修会

1月18日(土) 朝陽支所2階集会室

「多様化の現在に相応しい公民館事業」について研修

- (2) 人権研修会等への参加

10月31日(土) 開催の「第28回人権を考える住民集会」に参加した。

演題：障害のある人が当たり前暮らしのための地域づくり

〈広報部会〉

広報紙「輝くあさひ」を年4回発行し、住民自治協議会の事業とその活動、8区の話題、イベント、地区の出来事などを幅広く取材し、掲載しました。写真も取り入れ、見易く、地区の皆様親しんで頂けるような紙面づくりに努めました。又、昨年度に引き続き地区の事業者から広告を募り、6社を掲載しました。

1 主たる事業

- (1) 輝くあさひ第52号の発行 広報部数 6, 100部

発行日 令和2年7月1日

主たる記事 定期総会、会長挨拶、各部会の事業計画、組織図、令和2年度役員体制、平成31年度一般会計収支報告書及び令和2年度一般会計収支予算書。

- (2) 輝くあさひ第53号の発行 広報部数 6, 100部

発行日 令和2年10月1日

主な記事 水害防止対策研修会、新型コロナウイルス感染症と自然災害の複合災害時の避難、土のう積み等訓練、朝陽育成会少年野球及び

少女ソフトボールクラブ、はつらつ体操、常任評議委員会、8区の行事等及び広告

(3) 輝くあさひ第54号の発行 広報部数6, 100部

発行日 令和3年1月1日

主な記事 防災行政無線操作訓練、防災講座、朝陽地区戦没者等追悼式、生ごみ自家処理実践講座、青少年健全育成推進大会、介護予防講座、ながの未来トーク、朝陽ライズ北信越大会出場、地域再発見、ながの環境エネルギーセンター視察研修、8区の行事等及び広告。

(4) 輝くあさひ第55号の発行 広報部数6, 100部

発行日 令和3年3月31日

主な記事 令和2年度を振り返って、各部会活動報告、軽トラ市、温暖化防止講座、男女共同参画セミナー、朝陽小学校の体育館完成、18号線東バイパス歩道橋の命名、8区の行事等及び広告

2 部会活動、編集会議

各号の編集会議を9回開催

4/26(日)(中止)、5/31(日)、6/7(日)、8/30(日)、9/6(日)、11/29(日)、12/6(日)、2/21(日)、2/28(日)